



第61号

今号の主な内容

- 議員と話そう / 実行運動 / 委員会改選.....①
- 一般質問.....②～⑧
- 決算審査 / 議決一覧 / 補正予算.....②～⑦
- かっこうのさえずり / 所管事務調査報告 / 今後の予定.....⑧

8/30(土)・8/31(日)滝祭にて開催!



議員と話そう

滝沢市議会広聴常任委員会の取り組みとして、市民の皆さまと気軽におしゃべりをしながら交流する「議員と話そう」を開催しました。「滝沢市に住んで思うこと」「日々の困りごと」など、18組の方々の声をいただきました。

参加者の感想

- 議員と話ができてよかった
- 議会だよりを閲覧後、水力発電に興味がある
- 市内にボール遊びができるような大きな公園がほしい…etc

委員会改選

8月6日の8月会議で、各委員会などの改選が行われましたのでお知らせします。

委員会名	構成議員名
議会運営委員会	委員長: 小田島 清美 副委員長: 藤原 治 委員: 奥津 一俊・日向 裕子・仲田 孝行・鍵本 桂・井上 仁
総務教育常任委員会	委員長: 日向 裕子 副委員長: 奥津 一俊 委員: 菅野 福雄・安部 理絵・川口 清之・山谷 仁・遠藤 秀鬼
環境厚生常任委員会	委員長: 井上 仁 副委員長: 鍵本 桂 委員: 佐藤 澄子・柳橋 好子・仲田 孝行・相原 孝彦
産業建設常任委員会	委員長: 藤原 治 副委員長: 小田島 清美 委員: 村木 香織・齋藤 明・日向 清一・稻荷場 裕
予算決算常任委員会	委員長: 相原 孝彦 副委員長: 齋藤 明 委員: 議長を除く議員全員
広聴常任委員会	委員長: 奥津 一俊 副委員長: 安部 理絵 委員: 藤原 治・佐藤 澄子・齋藤 明・鍵本 桂
広報常任委員会	委員長: 柳橋 好子 副委員長: 菅野 福雄 委員: 日向 裕子・村木 香織・相原 孝彦・稻荷場 裕
議会改革推進会議	委員長: 小田島 清美 副委員長: 藤原 治 委員: 議長を除く議員全員

岩手県市議会議長会による
実行運動が行われました

滝沢市議会と八幡平市議会が共同で提出した「陸上自衛隊岩手駐屯地の勢力維持に関わる取組と地域連携について」の要望が、4月17日に開催された第1回岩手県市議会議長会定期総会で全会一致で議決されました。要望内容は、岩手駐屯地近傍への宿舍整備の着実な推進のほか、地元産業の活性化に関する事項です。

その後、議決された他の要望事項と合わせ、滝沢市をはじめとする県内14市議会議員の連名により、7月30日から31日にかけて関係省庁などに要望書を提出する実行運動を実施しました。



要望書の提出先: 自由民主党本部及び関係省庁

要望書内容の詳細はこちら



【歳出審査】総務教育分野

広報発行业業

- Q:** 紙媒体の広報誌を発行するメリットは。
- A:** すべての世帯に届き、いつでも見たいときに見られます。デジタル化の推進と合わせて、当面の間は紙媒体での発行は継続します。

庁舎等改修事業

- Q:** 外壁の使用目標年数の根拠は。
- A:** 法定耐用年数50年を基に、今回の改修を経てさらに30年使用し、計80年の使用を見込みました。

小学校維持管理事業

- Q:** 物品や公共料金が高騰している中で事業費が5年度と比較してあまり変わらない理由は。
- A:** 本事業の大半の経費は光熱水費ですが、校舎などの照明のLED化を進めたため、電気料金が400万円ほど削減されたことが主な要因です。
- Q:** 予防保全型維持管理の考え方がどの程度実施されたのか。
- A:** 日常点検のほか、専門業者による定期的な保守点検を実施し、施設の劣化状況などから優先度を図り、予防的修繕などの対応をしています。



▲滝沢小学校体育館

滝沢小学校体育館大規模改修工事があり、外装部では外壁遮熱塗装工事およびスロープ新設工事、内装部では床改修工事（クッション性の向上）、建具改修工事（劣化戸改修、窓サッシ断熱化）、屋根部では屋根改修工事（カバー工法による断熱性、保温性の向上）などが行われました。

自治公民館整備補助事業

- Q:** 集会所などの補助内容は。
- A:** 富士見集会所、上の山団地集会所、けやきの平集会所、温泉ふれあい館、姥屋敷交流館の5箇所に補助しました。床の修繕や外壁の塗装、窓サッシの交換などの工事が行われました。

学校教育振興事業

- Q:** 「明るく かしく たくましい子ども」を育成するための学校教育指導計画の評価は。
- A:** 児童生徒の豊かな人間性を育むことをめざしながら教職員、保護者、地域の方が一体となって教育活動が実践されています。

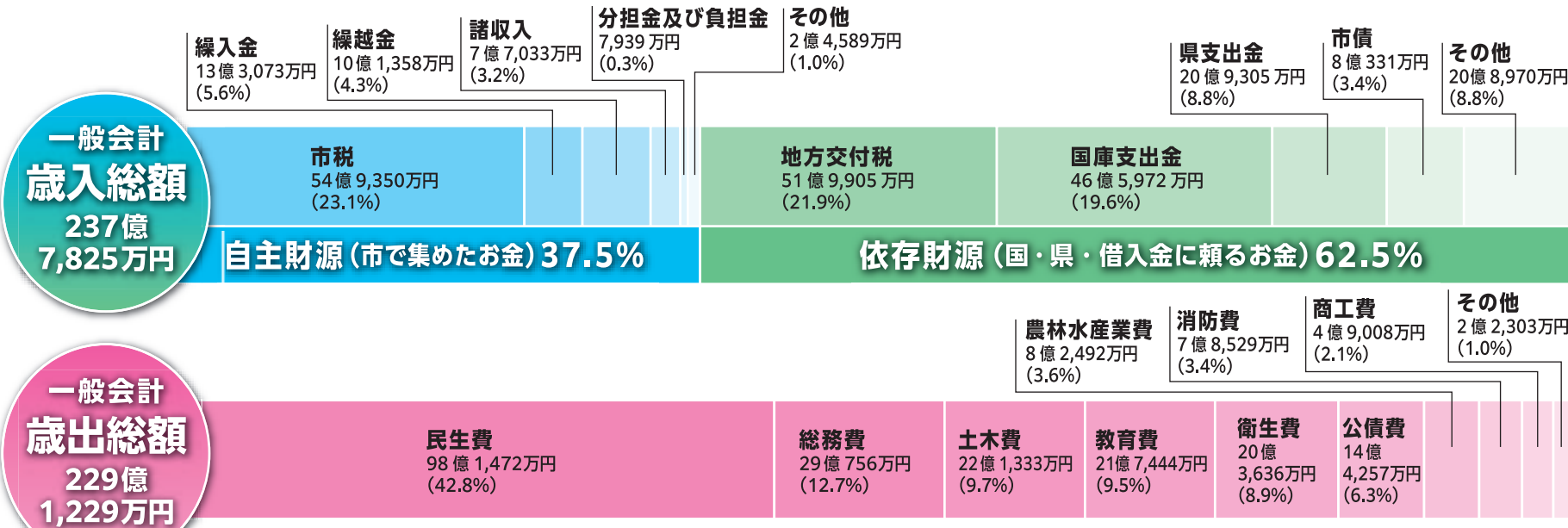
中学校校舎等改修事業

- Q:** 防犯対策施設整備に係る工種は。
- A:** 防犯カメラや校内インターホン等の電気通信設備が主なものであり、防犯カメラは38台、インターホンは171台設置されています。
- Q:** 照明のLED化は水銀使用の蛍光灯の規制に起因したものか。
- A:** 国の規制に起因したものであり、2030年までにすべての照明のLED化を図っていくものです。

令和6年度決算認定！

6年度の決算認定にあたり「認定第1号 6年度一般会計歳入歳出決算の認定」に対して附帯決議を付けて認定しました。

附帯決議とは：可決された案件に対して事業を執行する上での要望や留意事項を述べるための決議です。政治的效果はありますが法的効果はありません。



【附帯決議の内容】

○学校教育施設の維持と整備について、1か月に1回の頻度で実施する定期の安全点検、授業日ごとに実施する日常の安全点検などで、物理的な不具合を専門的知見の支援も含め早期に是正し、予防保全型維持管理の考え方を踏まえ、標準より耐用年数を延ばしていく長寿命化の推進を図る体制づくりに取り組むこと。

○若者の市外流出を防ぐため、働く場の創出が喫緊の課題であることから、地域内の人材定着、I・J・Uターンによる雇用拡大の推進および企業の活性化に一層努めること。

《市民税(個人分)》

- 【問】** 個人の収納率が過去3年間と比較して低下している要因と課題は。
- 【答】** コロナ禍の助成制度の終了、雇用状況の悪化、物価高騰などの影響で個人の担税力が弱まっていると考えます。
- 課題は、納期限を過ぎてから滞納処分までの期間を短縮させることと、若手職員の人材育成が挙げられます。
- 《固定資産税》**
- 【問】** 予算額に対し決算額897万円増の要因は。
- 【答】** 6年度に固定資産の評価替えがあり、土地の評価額がほとんど上昇するが横ばいとなったため税収増となりました。

《社会資本整備総合交付金》

- 【問】** 繰越明許費となった要因は。
- 【答】** 道路事業は向新田線と第1菓子線で、工期の調整と用地交渉に時間を要するため事業の一部を7年度に繰り越しています。

《地方交付税》

- 【問】** 予算額に対し決算額が約1億円増となった要因は。今後また安定的に見込めるか。
- 【答】** 5年度は台風5号の被災地域への重点交付に伴い交付額が減となりましたが、6年度は県内でこれに匹敵する災害がなかったため、その反動で増額になったと考えます。
- 今後は、人口減少や消費税の動向によって大きな影響を受ける可能性があります。
- 《学校施設環境改善交付金》**
- 【問】** 予算額に対し決算額約2,500万円減の要因と7年度予算への影響は。
- 【答】** 主な要因は、一本木小学校屋内運動場の大規模改修工事の繰り越しと、防犯対策施設整備工事の完了による交付金減であり、予算への影響はありません。

歳入の主な審査

市内中学生の制服の在り方について

- 【問】** 本年1月市教育委員会は、市内中学校の制服を統一デザインで男女ともブレザー型とする案を示し、アンケートを実施したが、その結果が保護者に公表されていない。保護者個々に丁寧に公表すべきだったのでは。
- 【問】** アンケート結果に対する市の判断は。
- 【答】** 第1回制服の在り方検討委員会のアンケート結果は、各学校よりさまざまな機会を通じて保護者にお伝えいただくこととしていましたが、保護者へ個々にお知らせは行っていません。
- 【問】** 生徒の意見の反映は。
- 【答】** 昨年10月に滝沢市ジュニアリーダーズセミナーで、市内6中学校25人の生徒が参加し、意見をまとめています。

議員からひとこと

今後、保護者にHP上で結果の公表はもちろんのこと、実施に向け、経過措置の有無など保護者の意見を丁寧に把握し、対応すべきと考える。



会派に属さない議員
ふじわら おさむ
藤原 治 議員

学校施設の安全点検について等

- 【問】** 文部科学省から発出された学校における安全点検要領を、本市の中学校が的確に実践するための指導内容は。
- 【答】** 要領の活用を周知するほか、学校の施設・設備などに起因する事故の防止に努めるように指導しています。
- 【問】** 予防保全型維持管理を意識した専門家や地域住民との連携、教職員の負担軽減などに留意した安全点検の取り組みは。
- 【答】** 安全点検に参考となる点検項目表の作成は、過去の事故やヒヤリハットの事例を生かした点検項目表の作成は、安全点検に係る点検項目、安全点検表の例、事故情報の共有およびヒヤリハット事例の活用などが示されている点検要領を活用しながら、効果的に実施します。

議員からひとこと

軽微な段階の劣化や損傷を早期に把握、予防的な修繕などを実施する「滝沢市公共施設等総合管理計画」で示された予防保全型維持管理の具現化をめざすため。



▼藤木小学校校舎



会派に属さない議員
おくつ かずとし
奥津 一俊 議員

公共交通への支援について等

- 【問】** 一般的なバス停留所にベンチ設置の考えは。
- 【答】** 利用者へのサービスとして交通事業者が設置すべきと考えます。
- 【問】** 土地に余裕がある所にベンチと併せて屋根を設置する考えは。
- 【答】** ベンチと同様に事業者が設置するものと考えますが、市役所周辺のように乗り継ぎ拠点や利用者の多い交通結節点での待合環境の整備は、事業者と協議します。
- 【問】** 既に配布されている子ども版防衛白書の授業への活用は。
- 【答】** 学習指導要領の内容に準じて、検定済みの教科書などを使用して指導しており、授業での活用を進めます。

議員からひとこと

地域公共交通の維持・確保のため補助金などの直接支援は必要ですが、市やボランティアによる間接的な支援として、バス停留所にベンチ等の設置をと考えました。

農業の振興対策について等

- 【問】** 米づくりの生産施設の基盤整備は。
- 【答】** 地域での話し合いの中で基盤整備の実施に向けて、気運の高まりに応じた手法や計画の熟度を高め、関係機関と連携を図り進めます。
- 【問】** スマート農業推進は。
- 【答】** 一部の地域で直播栽培に取り組んでおり、その結果を地域間で共有して関係機関と技術の導入を協議し、直播栽培導入の情報を提供できるよう努めます。
- 【問】** 米づくりの産地化は。
- 【答】** 8年産米から稼働予定として建設中の大沢地区のライスセンターは銀河のしずくを中心に取組み、取組みにも注力しながら滝沢市産としてのブランド化を検討します。

議員からひとこと

最近のコメ不足・コメ価格の高騰など、市民の食の安全安心の観点から生産体制への支援がより重要と捉えて質問しました。



(その他の質問) 鳥獣被害対策について



市民クラブ
さいとう あきら
齋藤 明 議員

【歳出審査】産業建設分野

産業人材育成事業

- Q:** 人材定着、雇用、起業者数への影響は。
- A:** I P Uイノベーションセンターで開催されるセミナーやイベントを通じて、若い世代の人材定着や雇用につながっていると捉えています。

民有林森林保全整備補助事業

- Q:** 今後の民有林の所有者への事業展開は。
- A:** 森林環境譲与税なども含め、所有者に意向調査をしながら整備を進めます。

若者活躍の場づくり推進事業

- Q:** 昨年8月に東京で開催されたU I ターンの重要な機会である県主催の33市町村を対象としたTHEいわてDAYに参加しなかった理由は。
- A:** 滝祭と同日開催であり、担当課の人員配置を検討した結果、参加を見送りました。

農業担い手育成対策事業

- Q:** 新規就農希望者へのメンター紹介事業は就農につながったか。
- A:** 6年度は1名が活用し就農済みです。7年度も1名が同制度を利用しており、就業につながるよう引き続きフォローします。

観光施設管理運営事業

- Q:** たきざわ自然情報センター利用者数減の要因は。
- A:** 5年度に比べ冬期間の利用が減っており、除雪の出動回数をみると、降雪が多いことが影響したと考えます。

有害鳥獣対策事業

- Q:** 農作物被害額が目標値を超えている要因は。
- A:** クマの被害額約70万円に対し、イノシシの被害額の方が多く約130万円です。イノシシは用心深く、捕獲に苦慮しています。



▲向新田線道路改良舗装事業視察

【歳出審査】環境厚生分野

妊産婦保健事業

- Q:** 母子手帳交付数に対して、妊婦教室の参加者が少ない要因は。
- A:** 参加したいと考えていても、就労している方が多く、平日の開催では仕事を休めないとの声があります。



◀妊産婦教室(ほっこりママサロン)

育児支援事業

- Q:** 虐待の早期発見や未然防止につながったケースは。
- A:** さまざまな教室の開催や相談、訪問、交流の場を設け、子育ての不安軽減に努めるとともに、関係機関との連携によって虐待予防につなげています。

妊産婦教室は、夫婦で協力し合うことや、地域での仲間づくりなどを目的に開催しています。育児支援事業で、相談支援者のメンタルヘルスクエアや助言体制は相談内容が複雑化しているため、保健師・助産師などがチームで役割分担して支援していることを確認しました。

老人クラブ活動促進補助事業

- Q:** 老人クラブ数、会員数が減っていることへの対策は。
- A:** 老人クラブの負担軽減のため、補助金の申請手順などのマニュアルを作成し、事務手続きのサポートをしています。

民生委員・児童委員設置事業

- Q:** 定員確保に向けた対応は。
- A:** 地域で信頼できる方を推薦してもらうことが地域住民の安心につながるため、地元自治会に推薦を依頼しています。

生活困窮者自立支援事業

- Q:** 家族介護者へのサポートは万全か。
- A:** 相談があれば問題解決のため担当部署へつなぐよう支援しています。
- Q:** 相談者の自立支援後の経過観察の実施は。
- A:** 支援後に再相談ができることを伝え、一定期間後に改めて状況を聞くなど、経過観察を実施しています。

こども家庭総合支援事業

- Q:** ヤングケアラーへのサポート体制は。
- A:** 本人が担っているケアを担当機関が代替えしており、各担当課と連携して対応しています。
- Q:** 相談対応数が目標値を大きく上回った要因と分析は。
- A:** 一般的な育児相談だけでなく虐待やしつけまで、児童福祉に関する相談が増えています。

頻発するクマ出没への対策について等



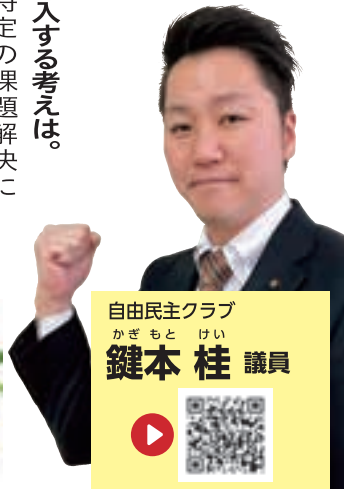
自由民主クラブ
村木 香織 議員

【その他の質問】
自治会活動のサポート体制について



市街地や学校近辺でクマの目撃が頻発していることから、目撃情報の周知・共有方法を見直し、より踏み込んだクマ対策を講じるべきと思いました。

地方創生人材支援制度について等



自由民主クラブ
鍵本 桂 議員

- 【問】** 地域創生人材支援制度を活用し、国家公務員を派遣してもらい、外部目録で地域課題の抽出対応を行う考えは。
- 【答】** 事業の推進に当たって専門人材が必要となる場合には、制度の活用を検討します。
- 【問】** 地域おこし協力隊と併用できる制度として、集落支援員制度および地域活性化起業人制度があるが、市職員の負担軽減および市政課題の改善のため導入する考えは。
- 【答】** 特定の課題解決に集落支援員制度が効果的に機能すると認められる場合は、地域と協議の上、導入を検討します。
- 【問】** 地域活性化起業人制度は、5年度から活用しており、株式会社イーアール・シーと協定を締結し、たきざわ地域人材デザイナーを1名派遣した。IT教育や市内企業のIT人材育成などに取り組んでいます。

人口減少が加速し、限られた予算・人員で新たな企画・創造的な業務の実施には外部人材の活用が必須だと考え、先進地を会派で視察し確信したことを質問しました。



ふるさと納税について等

- 【問】** ふるさと納税返礼品の提供事業者に対する実績報告や戦略説明を行う決起集会の実施は。
- 【答】** 本年5月にふるさと納税事業者交流会を開催し、本市の現状と制度の改正点の説明を行う等情報共有を図りました。
- 【問】** ふるさと納税業務専属の人材登用は。
- 【答】** 特産品開発などの専門知識やスキルを持った人材の登用は、ふるさと納税の推進に効果的な方法

法の一つと考えます。しかし、経費を寄附受入額の50%以下とする現行制度では、人材登用した場合の経費が50%を超過するため難しいと考えます。

【問】 市内公共施設などの多目的トイレに、※フィッティングボードを設置する考えは。

【答】 財源や施設ごとの状況を総合的に勘案の上、それぞれの改修計画で位置付けを定め、計画的に

※フィッティングボード壁から折り畳んで使用する収納式の着替え台



農業振興策について等

- 【問】** スマート農業の現状と今後の推進方策は。
- 【答】** 市の主な取り組みとしては、ドローンによる薬剤散布や水位センサーでの水位確認があげられます。
- 【問】** 米増産に向けた耕作放棄地・遊休農地の現状および解消方策は。
- 【答】** 農業委員会の農地パトロールにより遊休農地が5年度に比べ2.9ha解消されました。

用促進法により、地域の実情に合ったスマート農業の導入を検討します。

【問】 米増産に向けた耕作放棄地・遊休農地の現状および解消方策は。

【答】 農業委員会の農地パトロールにより遊休農地が5年度に比べ2.9ha解消されました。

【その他の質問】
有害鳥獣対策
・輸出入の取り組み



海政会
日向 清一 議員

会派で視察に行った新潟県三条市から、寄附額アップの秘訣は①返礼品数の増②返礼品事業者との信頼関係③見せ方と教わってきました。本市にもまだ伸び代があります。

【問】 スマート農業の現状と今後の推進方策は。

【答】 市の主な取り組みとしては、ドローンによる薬剤散布や水位センサーでの水位確認があげられます。

【問】 米増産に向けた耕作放棄地・遊休農地の現状および解消方策は。

【答】 農業委員会の農地パトロールにより遊休農地が5年度に比べ2.9ha解消されました。

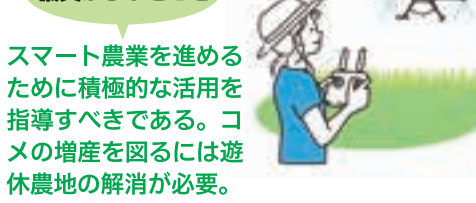
用促進法により、地域の実情に合ったスマート農業の導入を検討します。

【問】 米増産に向けた耕作放棄地・遊休農地の現状および解消方策は。

【答】 農業委員会の農地パトロールにより遊休農地が5年度に比べ2.9ha解消されました。

【その他の質問】
有害鳥獣対策
・輸出入の取り組み

スマート農業を進めるために積極的な活用を指導すべきである。コメの増産を図るには遊休農地の解消が必要。



令和 7 年 8 月会議（8 月 6 日）議案 3 件を審議

●可決議案 ※案件名は省略しています。正式名称の間合せは議会事務局へ。

案件名		単位：千円
議案第 1 号	7 年度一般会計補正予算（第 2 号）	30,164
議案第 2 号	財産の取得に関する議決	
議案第 3 号	財産の取得に関する議決	

令和 7 年 9 月会議（9 月 1 日～9 月 26 日）
議案 12 件・諮問 1 件・認定 7 件・請願 1 件・発議 1 件を審議

●可決議案 ※案件名は省略しています。正式名称の間合せは議会事務局へ。

案件名		単位：千円
議案第 1 号	7 年度一般会計補正予算（第 3 号）	595,915
議案第 2 号	7 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	85,297
議案第 3 号	7 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	5,086
議案第 4 号	7 年度介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	74,672
議案第 5 号	7 年度介護保険介護サービス事業特別会計補正予算（第 1 号）	306
議案第 6 号	7 年度下水道事業会計補正予算（第 1 号）	9,486
議案第 7 号	市議会議員及び市長の選挙運動の公営に関する条例の一部改正	
議案第 8 号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	
議案第 9 号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び会計年度任用職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正	
議案第 10 号	6 年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
議案第 11 号	6 年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
議案第 12 号	7 年度一般会計補正予算（第 4 号）	31,953
認定第 1 号	6 年度一般会計歳入歳出決算の認定	
認定第 2 号	6 年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第 3 号	6 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第 4 号	6 年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第 5 号	6 年度介護保険介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第 6 号	6 年度水道事業会計決算の認定	
認定第 7 号	6 年度下水道事業会計決算の認定	
請願第 1 号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願書	
発議第 1 号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書	

●人事 ※案件名は省略しています。正式名称の間合せは議会事務局へ。

案件名		名前
諮問第 1 号	人権擁護委員（適任）	伊藤 美代 氏

●上記の内、賛否が分かれた議案

結 果		○賛成 ×反対	※角掛邦彦議員は議長であるため採決には加わりません。
議案第 8 号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ × ○ ○ ○ ○ ○ ○ ※	19 18 1
認定第 1 号	6 年度一般会計歳入歳出決算の認定	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ × × ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ※	19 17 2
認定第 2 号	6 年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ × × ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ※	19 17 2
認定第 4 号	6 年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ × × ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ※	19 17 2
請願第 1 号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願書	× ○ ※	19 18 1

年金増額分の保証について等

【問】介護保険などの保険料が変更になったとしても、年金増額分は保証されるよう市独自の措置は。 【答】増額となった年金収入に併せて、事業遂行に必要な経費を定められた基準で負担いただいています。

このことから、年金の増額に伴い発生する可能性のある負担の増加分を市として保証することは考えておらず、現行の制度に基づき対応します。

【問】社会保険の企業負担分に対する支援および特定技能外国人採用企業に対する市独自の支援策は。 【答】中小企業支援として、エネルギー価格などの高騰の影響を受けている事業者に対して支援を行うとともに、中小企業振興資金制度による融資などを実施しています。

社会保険の企業負担分の支援および特定技能外国人採用企業に対する市独自の支援は考えています。

託しており、現在の体制で事業を推進します。

議員からひとこと

せっかく年金が増えても、介護保険料などが増えてしまい、何のために年金が増えたのかわからないという現状から質問しました。

議員からひとこと

せん。

福祉バスを充実したコミュニティバスへ等

【問】福祉バスの運行経路や増便の研究は。 【答】福祉バスは主に睦大の交通手段ですが、誰もが利用できます。

しかし、利用者が年々減少する等の課題もあり、市内の関係部署や関係機関などと協議し、持続可能なコミュニティバスとしての運行を目的に再編計画の策定に取り組んでいます。

【問】ひきこもり支援体制の整備と施策は。 【答】ひきこもり支援体制の整備と施策は、専門の事業者 2 社に再委託しております。

【問】7 年度から重層的な援体制整備事業を実施し、引きこもり支援を位置付けています。

アウトリーチ支援や居場所の提供も重要であり、今後は研修などで支援者のスキル向上を図り、実践力強化に努めます。

【問】ふるさと納税事業へのアドバイザー登用は。 【答】専門的な知識やスキルを持った人材登用は効果的であると考えますが、専門の事業者 2 社に再委託しております。

議員からひとこと

高年齢者や免許返納者、障がい者などの交通弱者を始め、誰でも利用できる移動手段を確保するためコミュニティバスが必要です。

会派に属さない議員 菅野 福雄 議員

公明党 おだしま きよみ 小田島 清美 議員

●7 年度一般会計補正予算質疑

7 年度一般会計補正予算（第 3 号）

○向新田線道路改良舗装事業
【問】工事内容について見解は。
【答】向新田線と盛岡環状線の交差点に信号機が設置され、向新田線の共有開始は 8 年 4 月 1 日を予定しています。冬期間の舗装を避けるため、表層までの工事を今年中に完了させる予定です。
○有害鳥獣対策事業
【問】増額の要因は。
【答】クマの出没が多く安全確保のため、熊スプレーの購入費 33 万 8,000 円、捕獲檻の修繕費 30 万 3,000 円を計上しています。
○若者活躍の場づくり推進事業
【問】47 万 9,000 円の増額の内容は。また、その事業の推進にどのようなことを期待しているのか。
【答】ふるさと回帰フェア（U I ターン関係）に参加するための旅費と出展料です。若者に U I ターンを率先的に仕掛けていくために、滝沢を P R するのは有効と考えます。
○第 4 風林線風林橋架替等事業
【問】増額の要因は。
【答】支障物件の補償費算定の経費と設計の見直しで、合わせて 900 万円の増となりました。
7 年度一般会計補正予算（第 4 号）
○農地災害復旧事業
【問】相の沢牧野の管理作業道も、農地災害復旧事業に該当すると想定するが見解は。
【答】8 月の大雨に起因すると判断することが困難なため、通常の維持管理の中で修繕します。
○市道等維持管理事業
【問】市道に土砂が毎回流されることへの対策が必要と思うが、検討したか。
【答】頻繁に起こるところには、側溝に流れるような対策などを取ります。

●請願

請願第 1 号「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願書
【請願事項】 1. 子どもたちのゆたかな学びを保障するため、学習指導要領の内容の精選等を行い、「カリキュラム・オーバーロード」の状態を早期に改善するよう、意見書を提出すること。
※「カリキュラム・オーバーロード」：国の教育課程基準にもとづき、学校が定めた教育課程の時数と内容が過多（教育課程の過積載）になっていて、子どもや教職員に過大な負担がかかっている状態。
【審議結果】採択

【提言書審査】

医療体制について

《在宅医療・介護連携推進事業》
【問】岩手西北医師会との連携の問題点と解決策は。
【答】医師会との連携は大切で重要であり、定期的な情報交換、情報共有ツールの改善や地域住民への普及啓発をしていきます。
【問】滝沢市地域医療に関する現状調査の結果の、医療と介護の連携を重視していくべきという市民の声の反映は。
【答】滝沢市版エンディングノートを作成し、それを題材にして、さまざまなプロセスを理解してもらう市民向け講座を開催します。
【問】講演・講話、研修会の目標未達の要因は。
【答】地域住民を対象とした講演・講話は、6 年度は希望が 1 箇所であったこと

による実施回数となっています。
また、研修会は本事業で実施する研修会のほか、地域包括支援センターが主催する研修会があり、医療介護連携ではなく別のテーマで実施したため、目標に達しませんでした。
【問】オンライン診療を含む遠隔医療の導入に向けた追加調査の実施は。
【答】追加調査の予定はありませんが、在宅医療普及は高齢者が安心して地域で暮らし続ける上で重要な要素であり、医療機関の状況を継続して情報収集します。



【総括的審査】

学校教育施設の維持と整備について
【問】予防的修繕の技量や専門的知見がない教職員を補完するため、都市整備部との協働体制が構築されたか。
【答】施設の安全点検は国の基準を参考に、学校と教育委員会が連携して行っています。そのため、都市整備部との協働体制は築いていません。
ヤングケアラー対策に関して
【問】ヤングケアラーを発見するための幼稚園・保育園、学校などとの連携は。
【答】それぞれの機関で子どもの状況変化や違和感に気づくこと、学校などでは登校状況や生活態度の変化などを注視するなど、周囲の大人が気づいてあげることも大事です。また、子どもたちが家庭内の困りごとを S O S として発信できる環境づくりにも必要です。
ハコモノ施設に対する維持管理について
【問】公共施設などの長寿命化工事や改修工事の検討における各部各課との協働体制の構築は。
【答】基本的には担当課が設計会社や施工会社との協力関係のもと工事を進めます。そのほか、技術系職員の各種研修会を定期的に開催し、他部署の工事経験者から個別に助言も受けています。
6 年度決算における財政及び今後の事業展開について
【問】6 年度たきざわ幸福実感アンケート報告書での、交通・移動手段の不便さ、働く場・やりたい仕事の不足に関連する事業の評価は。
【答】市内の地域間で移動手段が不足しており、バス路線の減便、運賃の高騰などの影響があると考えます。6 年度はバス路線の維持に係る補助金に加え、運転士確保のため岩手駐屯地で体験試乗会などを行いました。
市内に多様な企業が立地することが必要であり、企業誘致事業を推進し、6 年度に関係機関と協議を重ねました。また、市商工会と連携した職業マッチング事業のほか、子どもたちが市内企業や業務内容を知る機会として、チャグジョブ滝沢などの職業体験事業を実施しています。

言葉などの発達に課題がみられる就学前の児童について
【問】保育施設から小学校、放課後児童クラブや放課後子ども教室などへの申し送りの実施は。
【答】6 年度は市内 17 園を巡回し、園の先生方と支援の方法などについて話し合い、書面で結果を通知しています。小学校とは引き継ぎの機会が設けられており、円滑な接続を実現するよう連携しています。
放課後児童クラブへ巡回相談やことばの教室の情報を市から申し送りはしておらず、クラブ利用申請時に保護者が申告し、事業者が聞き取ることにしています。
財政運営について
【問】実質単年度収支額が約 2 億円の赤字となった点、また、市債残高および基金残高の評価は。
【答】赤字の要因は、人件費や扶助費の増のほか、庁舎改修などによる普通建設費が増となったものです。
また、財政調整基金の取崩額が積立額を約 3 億 5,000 万円ほど上回ったことも要因の一つです。ただしこれは将来の庁舎改修に備え、地域整備事業特別対策基金に 2 億 3,000 万円積み立てたことも一因です。結果赤字となりましたが、財政運営に影響はないと捉えています。
市債残高は県内の市で 3 番目に少ないですが、今後新規発行は慎重に進めます。基金残高は現時点の財政運営上は標準的な範囲と見えています。
広聴活動と市民の声の反映に関して
【問】各部署の集まりで、市民の声を「第 2 次滝沢市総合計画前期基本計画」に反映させる取り組みが行われていたのか。また、その意図をもって聴き取りをされたのか。
【答】各部門でも個別にアンケート調査や各種団体、審議会などを通じて市民の声を取り入れるよう努めました。6 年度に聞き取り、7 年度に事業の拡充や新規に行われている事業も複数あります。

【討論】

認定第 1 号 6 年度一般会計歳入歳出決算の認定	
【反対】 仲田 孝行 議員（日本共産党） 地域医療体制では、在宅医療で訪問介護サービスの弱体化のもとで、医療と介護の連携が明確ではありません。 学校の給食費無償化でも保護者の声を無視したままです。決算額からみて、その中身は市民の要望からは遠いものと考え、本決算認定に反対します。	【賛成】 鍵本 桂 議員（自由民主クラブ） 物価高騰の影響でさまざまな経費が増加するなか、中長期的な政策の実現や、市の諸課題の解決に前向きで、未来を見据えた予算執行であり、本市の強みを生かしたまちづくりを意識し、若い世代に焦点を当てた事業展開が図られています。よって、審議に向け委員会で活発な質疑も行われた歳入歳出決算内容と考え、賛成します。
認定第 2 号 6 年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	
【反対】 仲田 孝行 議員（日本共産党） 本会計の収入済み額は 46 億 9,200 万円余あり、運営は堅調です。 全国知事会など地方 3 団体が国に求めている、子どもの均等割負担をなくして、国保加入者の願いである暮らしを成り立たせ、協会けんぽ並みの、払うことのできる保険税となることを求め、本決算認定に反対します。	【賛成】 村木 香織 議員（自由民主クラブ） 保険給付費においてレセプト点検の徹底、重複・多受診者訪問、また、ジェネリック差額通知を行うなど、医療費適正化への取り組みがなされています。 また、歳入歳出においても 8,529 万円余りの残高があり黒字化がされているため、認定に賛成します。
認定第 4 号 6 年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	
【反対】 川口 清之 議員（日本共産党） 長年にわたる社会保障費削減路線のなかで介護の基盤のもろさが露呈しました。公費の大幅な投入はもちろんですが、本市も独自の保険料の減免、利用料の補助などの支援策をとるべきと考え、反対します。	【賛成】 安部 理絵 議員（自由民主クラブ） 地域包括ケアの更なる進展を図っていること、高齢者の介護予防と健康保持・増進に努めていること、認知症の人とその家族にやさしいまち・たきざわの宣言を行い、認知症支援体制の推進を図る等、高齢者が健やかに笑顔にあふれ、自分らしく住み慣れた地域で暮らし続けられるまちをめざした決算であると考え、賛成します。



かっこのさえずり No.16

市民のみなさんの声をシリーズでお届けします。



プロフィール

- 住田町出身
- 医療法人館こんの神経内科・脳神経外科クリニック院長
- 趣味：行ったことのない地に行ってみること

認知症になっても安心して暮らせるまちをめざして 紺野 敏昭 さん

(1) スローショッピングの立ち上げ

認知症が進行してくると、不安から外出が減り買物行動を控えてしまうことが少なくありません。地域社会とのつながりが薄れ意欲の低下、孤独・孤立におちいり、病気の進行を速めてしまいます。買物行動を再開することにより、このような負の連鎖を改善する目的で、令和元年7月にスローショッピングを立ち上げました。

(2) 活動の内容

毎週木曜日13時から15時にマイヤ滝沢店で、認知症サポーターとして登録されているボランティアさんが付き添い、ゆったりと本人のペースで、商品選びや会計をできるだけ自身で行えるように支えます。

買物の前後にはくつろぎサロンで交流を深めたり、本人や家族の悩み相談に応じえています。県内外からの視察も多く、全国にもこの取り組みが広がってきています。9月30日から、いわて生協ベルフ牧野林店でも毎週火曜日に開催しています。



私が最も伝えたいこと

総務教育常任委員会



調査事項：ICT教育について

【調査理由・目的】

児童生徒一人ひとりへのタブレット配付や電子黒板が整備されたが、家庭学習には活用されておらず、この活用が学力向上や不登校対策に有効と考え調査を行うもの。

【まとめ】

- 学校現場におけるタブレット端末などの活用では、各教員の技術向上を図り、ICT教育の推進やWi-Fi環境の改善に努めること。
- 家庭におけるタブレット端末の活用では、家庭でのWi-Fi環境の有無が学習に影響しないよう対応し、全学校共通の基本方針を明示すること。
- 学力向上・不登校支援におけるICT機器の活用では、オンライン授業など有効な手段を検討すること。
- 市教育委員会と学校、学校と保護者、児童生徒と教員との教育環境の連携が重要と考える。



市立滝沢第二小学校の授業風景



市立滝沢第二中学校の授業風景

産業建設常任委員会



調査事項：交通弱者対策について

【調査理由・目的】

車を運転しない高齢者や障がいのある方にとっては、交通手段の確保が生活上の重要な課題であるため、交通弱者に関わる課題解決の方法などを調査するもの。

【まとめ】

- 福祉バスの名称を市民にとって馴染みやすい名称に変更し、市民が気兼ねなく利用できるよう周知すべき。
- 交通結節点（駅など）までの足の確保は「かざボラ」の例を参考に、各自治会やまちづくり委員会ごとに組織化し、運営できるよう市からの情報提供や財政支援が必要。
- 東部地区と市役所がある西部地区を結ぶ道路を整備し、小型バス自動運転の実用化および運用をめざし、アクセスを容易にすることで交通弱者への対策も可能となるのではないかと考える。

調査事項：中心拠点を核とした交通網の整備について

【調査理由・目的】

現在整備中の特定大規模集客施設「(仮称)結まち滝沢クロス」へは、どこからでも乗り入れられる交通網の整備が必要と考え調査するもの。

【まとめ】

- つくば市、土浦市、牛久市および下妻市の4市では地域連携公共ライドシェアの取り組みも行われており、市民の足の確保は依然として課題であるとの認識で一致していた。
- 北部・東部地区や小岩井・大釜地区と市役所・中心拠点商業地区との間での交通アクセスの確保が急務であり、住民の移動手段の確保が重要な課題。
- これらの地域と中心拠点商業地区との間での交通網の整備を早急に検討し、実現に向けた具体的な行動を起こすべき。

所管事務調査報告

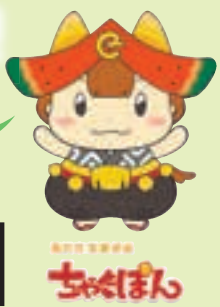
11~12月の予定

11月27日(木)	議会運営委員会・全員協議会
12月4日(木)	12月会議
12月5日(金)	各常任委員会
12月8日(月) 12月10日(水)	12月会議(一般質問)
12月12日(金)	12月会議・議会運営委員会

このほか常任委員会ごとに随時日程を決定し活動します。令和8年1月以降の予定は決まり次第、ホームページに掲載いたします。いずれの会議も傍聴することができます。お気軽にお越しください。

議会におでんせ!

傍聴者数
9月会議…21名



市議会のくわしい情報は、滝沢市議会ホームページをご覧ください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

滝沢市議会 🔍 検索

市内における熱中症対策について等

- 【問】避難場所となる各区コミュニティセンターへのエアコン設置は。
- 【答】熱中症対策は喫緊の課題であることから、助成事業の申請も継続しながら計画的な設置が必要と考えます。
- 【問】集会所へのエアコン設置は。
- 【答】地域活動の拠点でもあり、必要性は十分認識していますが、自治会とも協議しながらこれまでどおり市の補助金などで対応します。
- 【問】消防屯所へのエアコン設置は。
- 【答】屯所への設置は必要と捉えており、機能が低下しているエアコンも順次更新を進めます。
- 【問】ふるさと交流館の屋外でバスを待っている児童の暑さ対策は。
- 【答】熱中症などの心配もあることから、指定管理者と対応策を検討します。
- 【その他の質問】市長の公約実現と任期

議員からひとこと

消防演習時に各分団員の暑そうな姿や屯所の現状を聞き、また、ふるさと交流館でバスを待っている児童の姿を見て対応すべき内容と思いました。

▼バスを待つ子どもたち



中での実行計画

滝沢市議会
いのうえ じん
井上 仁 議員



議会事務局 〒020-0692 岩手県滝沢市中鶴飼55
TEL.019-656-6591 FAX.019-684-4195
<https://www.city.takizawa.iwate.jp/>
E-mail:gikai@city.takizawa.iwate.jp

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。